

陸前高田市民フォーラム（第2回高田松原地区震災復興祈念公園構想会議）

『高田松原の公園について語る』を開催しました！

都市計画課

平成24年9月2日、陸前高田市役所4号棟第6会議室において、陸前高田市民フォーラム「高田松原の公園について考える」を開催しました。

本フォーラムは、国内外の公園整備事例の紹介、高田松原地区における震災復興祈念公園の実現に向けた取組状況についての説明の後、参加された市民の皆様から公園に寄せる期待、想いなどについてのお話を交えながら、地元代表者、有識者の方々と意見交換を行ったものです。

当日の主なご意見をご紹介します。

市民

- ・ 三陸は津波の常襲地域であるが、過去の津波被害の際に被災遺構を残してこなかったため、伝えるべきが伝わらなかったのではないかと。「物言わぬ語り部」として、市内に残る被災建物を災害遺構として保存すべき。
- ・ 市民にも来訪者にも「開かれた公園」にするためには、市民参加の場をどれだけ重ねていけるかが重要。このような場、機会をもっと多く設け、時間をかけて市民の意見を聴いてほしい。
- ・ 防災マップや避難場所などについてしっかりと検証してほしい。誰かの責任を問うというのではなく、自然の力の前では人間がつくるものはこんなにもろい、ということの後世に伝える必要がある。



地元代表（委員）

- ・ 「いのち」というキーワードを踏まえれば、被災した構造物を何故残すのか、あるいは何故壊すのかにつながっていくのではないかと。
- ・ 世界が陸前高田を注目している。100年、1000年先を見据えて、今後も市民が公園について話し合える場を設けていくことが必要。
- ・ 公園利用者の避難場所をつくり、安全確保を図る必要がある。

有識者（委員）

- ・ 公園づくりに市民がどれだけ関わったかが、将来の公園管理の市民参加にもつながっていく。公園構想会議以外にも意見を聴く何らかのチャンネルについて道筋をつけておきたい。
- ・ 松原の苗を市民が植え、継続的に育てていくことは、「いのちをつなげる」という意味で非常に重要。
- ・ 公園を一気に完成させることもあるだろうが、100年くらいかけてつくっていく、育てていくという考えもあるのではないかと。



高田松原地区震災復興祈念公園構想について、10月1日まで皆様のご意見をお待ちしております。
郵送・FAX・メール・持参のいずれの方法でも可能ですので、以下の県または市の窓口までお寄せ下さい。

送付先 岩手県県土整備部都市計画課 〒020-8570 盛岡市内丸10-1 Mail: AG0007@pref.iwate.jp
TEL: 019-629-5890 (直通) FAX: 019-629-9137

陸前高田市建設部都市計画課 〒029-2292 陸前高田市高田町字鳴石42番地5
TEL: 0192-54-2111 (内線461) FAX: 0192-54-3888